

テレワーク導入企業へのヒアリング調査 導入事例 1

税理士法人アンビシャス・パートナーズ

税理士業

所在地 ● 札幌市厚別区厚別東4条4丁目9-1
電話番号 ● 011-398-4736
代表者 ● 森下 浩
従業員数 ● 13人
資本金 ● 150万円
事業内容 ● 税務、会計業務、コンサルティング業務、
各種セミナー業務
U R L ● <http://agri-ambitious.tkcnf.com/>



テレワーカー 会計担当
三浦 麻有美さん

「家から近い職場で働きたい」思いを、在宅で叶える

税理士法人アンビシャス・パートナーズで事務を担当する三浦麻有美さんは、月一度の全体会議以外は在宅で働いています。この仕事を始める以前は、税理士の資格を持っていたものの、職種は問わずに自宅からの距離だけを考慮して職探しをしていたと話します。お子さんがまだ幼稚園児で、急な病気で迎えに行かなければならない時など、頼れる親類が近くにいなかったためでした。そんな折、税理士の知識をいかして在宅で働ける

現在の仕事の誘いを受け、働き始めました。三浦さんは「もし在宅でなかったら、事務所は自宅から遠いので働いていなかったと思います」と話します。

「職場との連絡はメールや電話のほか、月一度の全体会議などを利用して、話す時間を十分に確保している」と話します。忘年会にも子連れで参加でき、社員が互いの家族を知る機会になっていると話し、母親としての働きやすさを実感しています。



代表 森下 浩さん

働いていない優秀な人材を確保する、 Win-Winの関係が重要

北海道の農業を専門とする税理士法人アンビシャス・パートナーズは、平成27年に第3回「会計事務所甲子園」で優勝するなど、在宅勤務や子連れ出勤、社員の子どもの対象とした食育活動などの取り組みが高い評価を得ています。社員の働き方は、完全在宅勤務、出勤と在宅が半々の人、子どもの長期休暇中など時期によって変わる人、と様々です。

代表の森下浩さんは、ご自身の子育ての経験を通して「家庭と両立できるような柔軟な働き方ができれば良いのに」と設立前から感じていたそうです。また、会計業務の経験を持ち産後間もない女性を採用したこともあって、設立当初から、在宅勤務と子連れ出勤を可能にし、おもちゃやDVDのあるキッズルームを作るなど環境を整えてきました。在宅勤務をする社員にはノートパソコン

とモニター、LTEモバイル端末が支給され、電子化された資料やファックスをサーバーで見ながらオフィスとほぼ同じ環境で働くことができます。また、顧客との打ち合わせに自宅から直接向かうことや帰宅することを許可しています。

森下さんは「これは奉仕活動ではありません。子育てを理由に働いていない優秀な人材を確保できる雇用側と、家庭の事情に合わせて柔軟に働ける社員、というWin-Winの関係です」と話します。忘年会や食育を目的とする農業体験など子連れで参加できる行事が多く、社員が互いの家族を知っていることで「職場全体が家族のよう」だと話します。そうした関係の中、子どもの体調不良などを理由とする急な休みにも、社員が互いに助け合う意識が自然に生まれています。